

- 第1回/佐倉 一徳さん NHK長野放送局企画総務部副部長 樋口 博さん 長野市産業振興部観光課課長
- 第2回/久米 えみさん ながのクラッセ会長 樋口 敦子さん ながのまちづくりカフェメンバー
- 第3回/鷺沢 幸一さん アスレながの事務局長 室賀 豊さん 長野市アイスホッケー協会理事
- 第4回/清水 隆史さん フォトグラファーほか 常盤 昭二さん CMディレクター
- 第5回/虎羽里(トラバリ)ゼーラさん アーユルヴェーダ・健康セラピスト
- 第6回/竜野 泰一さん 株式会社エーシーエ設計 取締役副社長【一級建築士】
- 第7回/木田 勇さん 信濃グランセローズ監督
- 第8回/荻原 健司さん 参議院議員・五輪金メダリスト
- 第9回/松島 憲一さん 信州大学大学院農学研究科 准教授
- 第10回/松岡 保正さん 国立長野工業高等専門学校 環境都市工学科教授
- 第11回/浜 このみさん クッキング・コーディネーター
- 第12回/角本 浩二さん バランスアドバイザー 長野県健康管理士会会長
- 第13回/針谷 友久さん 東京中小企業投資育成株式会社 主任(長野県担当)
- 第14回/水野 守也さん 長野市総務部次長 兼庶務課長
- 第15回/バドゥ・ピエイラ監督、薩川了洋コーチ、貞富信宏キャプテン
- 第16回/町田 良夫さん 社団法人長野市農業公社 常務理事
- 第17回/中山 修さん 中山法律事務所 弁護士
- 第18回/塩澤 研一さん (財)いのちの森文化財団副理事長 株式会社水輪ナチュラルファーム代表取締役
- 第19回/小出 陽子さん (同)ふぎっ子のお八起代表/信州おやきブランド化委員会 研究会リーダー
- 第20回/宮城 恵美子さん (有)宮城商店専務取締役/木の花屋
- 第21回/志村 雅由さん NPO法人 飯綱高原よっころしゃ 代表理事
- 第22回/薩川 了洋さん AC長野パルセイロ新監督
- 第23回/石沢 一男さん (有)田舎工房 代表取締役
- 第24回/新谷 志保美さん ハンクーパーオリンピック代表 株式会社竹村製作所 勤務
- 第25回/越 和宏さん スケルトン競技3大会オリンピック日本代表 株式会社システックス所属
- 第26回/鈴木 政一さん 長野パルセイロ・アスレチッククラブ強化本部長
- 第27回/千村 尚司さん 千村ブレイン代表・ソムリエ
- 第28回/川崎 史郎さん フリーライター・市民記者ネット代表
- 第29回/安藤 長一さん 篠ノ井消防署署長、緊急消防援助隊長野県隊長(第二次派遣隊)
- 第30回/マブソン 青眼さん 俳人・比較文学者
- 第31回/井上 裕子さん 信濃毎日新聞社編集局地域活動部長・編集委員
- 第32回/田幸 淳男さん 信越放送取締役相談役
- 第33回/飯室 織絵さん 観光客向けゲストハウス「1166/バックパッカーズ」運営
- 第34回/相原 哲さん ながの町神輿連合会武睦会 会頭
- 第35回/小林 亨さん 日本オリンピック委員会(JOC)勤務
- 第36回/薩川 了洋さん AC長野パルセイロ監督
- 第37回/小宮山 義光さん 日本野鳥の会長野支部会員
- 第38回/塩澤 研一さん 農業生産法人株式会社水輪ナチュラルファーム代表取締役/(財)いのちの森文化財団 副代表理事
- 第39回/梶田 達男さん NTT東日本 長野支店長
- 第40回/山田 隆さん しなの鉄道株式会社 専務取締役
- 第41回/藤岡 牧夫さん イラストレーター・絵本作家
- 第42回/矢澤 秀成さん 園芸研究者/ながの花と緑そして人を育てる学校校長
- 第43回/近藤 京子さん カウンセラー/NPO法人「わくわく志事研究所」所長
- 第44回/栗田 貞多さん 写真家
- 第45回/鴨志田 明弘さん 野村不動産アーバンネット株式会社 企業不動産部専任部長
- 第46回/天野 良彦さん 信州大学工学部物質工学科教授
- 第47回/美濃部 直彦さん AC長野パルセイロ監督
- 第48回/丸田 勉さん 脚本・演出家 森の家 林りん館館長
- 第49回/浅野 邦子さん 株式会社箔一 代表取締役会長
- 第50回/平沢 幸子さん 長野朝日放送 アナウンサー

- 第51回/本田 美登里さん AC長野パルセイロ・レディース監督
- 第52回/小田 與之彦さん 株式会社加賀屋 代表取締役社長
- 第53回/廣井 紀文さん 株式会社ディーテス 代表取締役社長
- 第54回/羽生田 豪太さん 株式会社羽生田鉄工所 代表取締役
- 第55回/中島 麻希さん 1級フードアナリスト
- 第56回/齋藤 安彦さん 宮司
- 第57回/屋敷 陽太郎さん NHKチーフプロデューサー
- 第58回/平山 優さん 歴史研究者
- 第59回/西村 知子さん 寺町商家運営アドバイザー
- 第60回/広瀬 毅さん 株式会社CREEKS 広瀬毅建築設計室代表
- 第61回/浅野 哲也さん AC長野パルセイロ監督
- 第62回/中島 恵理さん 長野県副知事
- 第63回/服部 秀人さん 信州・橋の日推進協議会専務理事/エコファーマー
- 第64回/平尾 勇さん 長野県観光機構エグゼクティブ・プロデューサー(前松本市商工観光部長)
- 第65回/野池 裕子さん ダイヤモンド・セルフ長野ファースト 代表・講師
- 第66回/愛甲 宏明さん 炭平コンピューターシステム株式会社 代表取締役社長
- 第67回/坂橋 克明さん フリーパーソナリティ
- 第68回/宮下 秀樹さん 株式会社守谷商会 執行役員、国立長野高専客員教授
- 第69回/金田一 真澄さん 公立大学法人 長野県立大学 学長
- 第70回/笹本 正治さん 長野県立歴史館 館長
- 第71回/山本 克也さん 長野市芸術館 総支配人
- 第72回/AO VIVO(アオ・ヴィーヴォ):竹内 浩一・中川 雅紀・山極おーじ優子・長谷川 裕晃・中田 寿寛
- 第73回/山浦 直人さん 土木・環境しなの技術支援センター理事、長野県立歴史館客員学芸員
- 第74回/松本 克幸さん 協栄電気興業株式会社 取締役副会長
- 第75回/大室 悦賢さん 長野県立大学グローバルマネジメント学部教授/ソーシャルイノベーション創出センター長
- 第76回/AO VIVO(アオ・ヴィーヴォ):竹内 浩一・中川 雅紀・山極おーじ優子・長谷川 裕晃・中田 寿寛
- 第77回/水間 源さん 東御市役所 地域おこし協力隊
- 第78回/小澤 吉則さん 一般財団法人 長野経済研究所 理事・調査部長
- 第79回/AO VIVO(アオ・ヴィーヴォ):竹内 浩一・中川 雅紀・山極おーじ優子・長谷川 裕晃・中田 寿寛
- 第80回/森田 舞さん ゆめサボママ@ながの 共同代表
- 第81回/新井 精一さん 千広建設株式会社 代表取締役
- 第82回/竹内 伊吉さん 大成産業株式会社 代表取締役社長
- 第83回/AO VIVO(アオ・ヴィーヴォ):竹内 浩一・中川 雅紀・山極おーじ優子・長谷川 裕晃・中田 寿寛
- 第84回/シュタルフ 悠紀 リヒャルトさん AC長野パルセイロ監督
- 第85回/若林 健太さん 衆議院議員

わいがやサロン

通信

Vol. 86
2022.11



緑町周辺の水辺風景



NUPRI
Nagano Urban Policy Research Institute

NPO法人 長野都市経営研究所

〒380-0834
長野市大字鶴賀問御所町1289-1丸本ビル2F
TEL.026-235-7911 FAX.026-235-6166
www.nupri.or.jp
e-mail:nupri@nupri.or.jp

NUPRI
Nagano Urban Policy Research Institute

NPO法人 長野都市経営研究所

第86回 長野市中心市街地を取り巻く環境の変化

講師／越原 照夫 さん 株式会社まちづくり長野常務取締役

■座長:岩野 彰／会場:ホテル国際21 弥生の間 令和4年11月15日(火) 18:00~20:00

街を彩っていた赤や黄色の木々の葉が一気に茶色になった霜月半ばの宵——長野のまちづくりに長く尽力されてきた越原照夫さんから須坂市に再来年開業予定のイオンモールについて、および他都市の対応を話していただくなか、核心は長野の対応・今後……。



こしはら てるお 1954年生まれ。信州ジャスコ(現・イオン株式会社)入社。2002年、株式会社まちづくり長野経営管理室長兼事業推進部長に就任し「TOMATO食品館」「ばていお大門」オープン等に携わる。2007年、同社常務取締役。

株式会社まちづくり長野および長野商工会議所は、長野市中心市街地の活性化を推進し市勢の発展に寄与するため、平成18年(2006)長野市中心市街地活性化協議会を設立し、私はタウンマネージャーをさせてもらっています。行政、事業者、地権者、住民、NPO、ボランティア団体などの参画を得ながら中心市街地活性化事業の総合調整等を行い、賑わいあふれるまちづくりをめざしてきたわけですが、なかなか道は険しく、今日は皆さんのお知恵を拝借したく、やってみりました。

長野の現状

今年9月、綿半スーパーセンターがイトーヨーカドー跡地にオープンしましたが、それまでミドリ以外の大型商業施設はどれも40、50年経過して古く、改築してもなかなか集客に結び付いてきませんでした。築52年経ったアゲインは本年閉店、私ども株式会社まちづくり長野がやっておりますTOMATO食品館含むもんぜんぶら座も築46年、老朽著しいため、2年前に市民の皆さんと検討会をもったところ、建物だけの問題でなく、そもそもまちづくりをどうするかで紛糾、とりあえず10年後をメドに解体することが決定し、会議を今月中に組織する予定です。

なぜ中心市街地の活性化が重要か？ 長野市に取られる市税の約8割は市民からの収入(個人市民税36%/固定資産税・都市計画税45%/少子化により人口は減るため市税収入も減る)で、面積にして市全体の1%である中心市街地が市税収入の約45%、とたくさんご負担いただいています。ここを元気にしないと税収が上がっていかないわけで、中心市街地への集中的な投資は税の還流という観点からも合理的・効果的なのです。

では、ここ数年、長野市は中心市街地に投資したでしょうか？ 全然していません。

地域最大級の大型商業施設が須坂に

皆さん、イオンモール須坂(仮称)が気になっていると思います。まずは「長野市と須坂市における大型商業施設(5000㎡以上)の分布」図をご覧ください。イオンモールの一画(イオンのほかにヤマダ電機・アークランドサカモト・ホームセンタームサシ・ホテルルートイン・物流産業施設・ものづくり産業施設)は地域最大級と銘打っていて、その面積と長野市に散らばって立地する16店舗の計がほぼ同じ。長野が要駐車場代なのに対しアチラは無料(4千台分)、1か所ですべての用が足りるようになります。長野市人口は37万人弱、須坂は5万人弱=ほぼ7:1なのですが、平日はまだいいとしても土日祝は長野の買い物客の半分以上を持っていかれてしまうのではと危惧しています。

ちなみに「ものづくり産業施設」は市の直営です。対して、エムウェーブ周辺に8年後完成とされる長野の工業団地は委託。なぜ市は投資しないんでしょう。商業もナシ、工業もナシというのが今の長野のカタチです。

イオンモールの脅威

イオンモールが全国各地を席卷しています。先月グランドオープンしたイオンモール土岐(岐阜県)は自然光を取り入れた建物。衣料・飲食・本の専門店あり、アミューズメント施設あり、その上、温泉施設、サーキットまであって大人も子どもも一日中いて

も飽きない！
モールにお客さんを奪われた都市はどう対応しているか——金沢市はイオンモール白山に対抗して駅前再開発プロジェクト始動。宮崎市も駅前再開発をテコ入れ、熊本市は再開発に777億円(!)を投入、丸亀市は駅前に体育館等を建設……各市、資金を投入して頑張っています。

長野が一番近い松本はどうか？ 以前は長野より松本商圏のほうが小さかったがイオンモールが出来て逆転しています。市は無料バスで市街地観光名所との回遊性を創出(JR松本駅→蔵の町→お城の先がイオンモール)したり、市と共同してパルコとのスタンプラリーや各種イベントを次々仕掛けています。イオンモールとうまく連携しているのは松本くらいじゃないでしょうか。

須坂と同じく2024年に開業を予定しているのがイオンモール北福島(仮称)。所在地は福島県伊達市なのに北福島と発表され、須坂も「イオンモール北長野」になり得る!と関係者が慌てて陳情に行ったらしいです。福島市は県庁所在地で人口は29万ですから長野に似ています。長野は駅前の東急百貨店が頑張ってくれていますが、福島は駅前にあったデパートが2020年に閉店、その跡地等を利用して官民一体となって福島駅前の賑わいの創出を急げと490億円投資。今夏、再開発事業が着工したと新聞に載っていました。

長野の中心市街地が生きのびる道

福島駅には新幹線が全部は停車しないのに比べて長野駅は全部とまるだけ有利。全国に知られた善光寺があり、かつ白馬・志賀ほかへのハブ駅なのに、その利点を果たしていない。駅にもっと観光案内を、ですか？ 駅構内はJRの管轄ということで何をすることも有料にしてバス乗換案内や市内観光情報はしてくれないんですね。

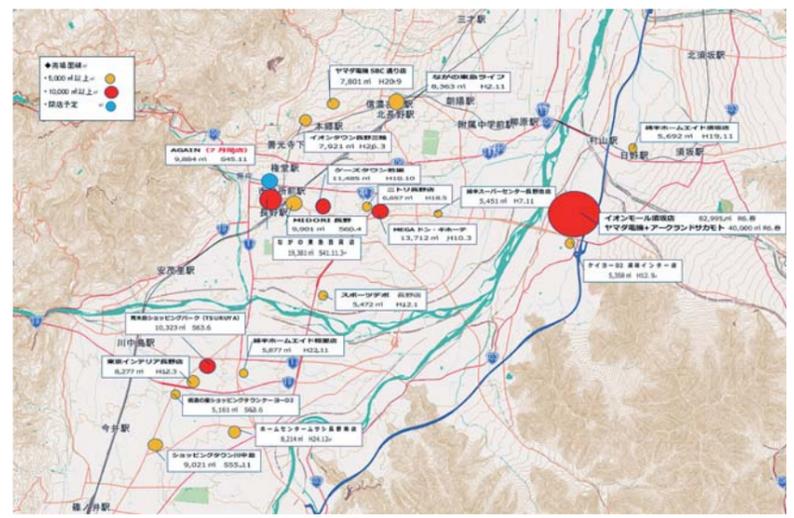
何をすることもお金が必要ですが、長野の中心市街地が賑わうためには今の環境を変えるほかありません。2020年に実施した市民アンケートをご覧ください。「中心市街地が抱える課題」グラフで突出しているのは、魅力的な店・生活に必要な店がない・少ない、憩いの場所がない・少ない、川・水辺など潤いの場所がない……。『行きたくなくなるために求める機能』のグラフで突出している買い物関係項目は全てイオンモール須坂にとられてしまうでしょう。残る項目は文化や技術の場、憩いの場、水辺の場などでした。

アンケートをベースにして有識者と検討し長野市は今春、長野の中心市街地の長野中央西地区すなわち長野駅から新田町交差点周辺までの地区再生に関して方針を①商業・娯楽施設等の再生②憩い場づくり③歴史・文化の保全と継承④脱炭素社会への挑戦⑤まちなか居住の促進、と決定。実現に向け、動き出しています。

長野大通り協道の水辺に立つカッパをご存知でしょうか？ 昭和のある時期から全国的に川や用水路の暗渠化が進みました。理由は子どもの安全あるいは車道建造のためでした。市内のホテル生息地、例えば善光寺用水・南八幡川の一部が水辺の遊歩道・憩いの場として再生されたのは2007年(表紙イラスト)。そうした事業を進めていきたいと思っています。

長野を元気に、行きたくなくなるまちにするために、皆さんのご協力をお願いします。

講話後、理事長から「数百億円かけて対抗している他都市の例に、なるほど。50年先を考えれば長野の方向は無限にある」等の感想。コロナ第8波を懸念し解散しました。



長野市と須坂市における大型商業施設の分布(売場面積5,000㎡以上)



須坂長野東インターチェンジ周辺地区開発



イオンモール須坂の予想図



地区再生方針④脱炭素社会への挑戦として、歩道・自転車利用環境を整備、等

